

9回目 オリエンテーション

強いチームづくりにも、円滑な運営にも——「オリエンテーション」の力

スポーツ指導者の皆さん、いつも現場でのご尽力、本当にありがとうございます。
今回は、「オリエンテーション（初期設定の場）」の重要性についてお伝えしたいと思います。

オリエンテーションとは何か？

オリエンテーションとは、
「新しい関係性ができたときに、これからの関係性をより良くするための準備の場」です。
これを理解すると、こう思えるはずです。

- ・ 「強いチームをつくるために必要」
- ・ 「組織をスムーズに運営するためにも不可欠」

つまり、**チームのスタート時に“土台”をしっかりとつくる作業**だということです。

地域のチームでよく聞く「保護者とのトラブル」

現場でよく聞く話の一つが、「保護者との行き違い」。

- ・ 「なぜ、うちの子が出場できないのか説明がない」
- ・ 「送迎のルールを後から変えられて困る」
- ・ 「急に費用の徴収が始まった」...など

こうしたトラブルの多くは、**ルールや基準が最初に明確にされていないことが原因**です。

オリエンテーションがあると、こう変わります

たとえば、チームの活動を始める際に保護者を対象にオリエンテーションを実施すると...

- ・ 指導方針（楽しむ重視？勝利重視？）
- ・ 出場機会の考え方
- ・ 保護者のサポート範囲（送迎・応援・LINEの使い方など）
- ・ トラブル時の連絡ルール
- ・ 練習の欠席連絡の方法 など

これらを**最初に共有しておくことで、後から起きる“誤解”や“すれ違い”を大幅に減らすことができます。**

「今さらできない」ではなく、「今だからこそ必要」

「これまでやってこなかったから、今さら始めるのは気が引ける...」

そう思う方もいらっしゃるかもしれませんが。

でも、**もし今、保護者や選手との間に不満や誤解が多いなら、それこそ“今”がやるべきタイミング**です。
ルールや関係性を整理することで、チームはもっと前向きに進めるようになります。

実際にあった例：ある中学校の野球部

ある中学校の野球部では、保護者会が混乱していました。

「誰がどこまで手伝うのか」「連絡は誰から来るのか」が曖昧で、毎週のように意見が割れていたのです。
そこで、年度初めにオリエンテーションを設定し、以下を明文化しました。

- ・ 年間スケジュールの共有
- ・ 応援スタイルのルール（指示出しNG、ポジティブな声かけ歓迎）
- ・ 当番制の役割範囲の明確化
- ・ 指導者からのお願い事項の説明

それ以降、「揉め事が激減した」と顧問の先生は言います。

最後に

オリエンテーションは、信頼関係づくりのスタートラインです。

強いチームをつくるにも、トラブルを減らすにも、最初の“すり合わせ”が欠かせません。

指導や運営がスムーズになることで、**もっと選手に向き合う時間とエネルギーが増えていきます。**
今だからこそ、オリエンテーションという一歩を踏み出してみませんか？